

浜岡原子力発電所 3号機 原子炉建屋 地下1階における
水の漏えいについて

2019年2月7日

発生場所	3号機（施設定期検査中） 原子炉建屋 地下1階（放射線管理区域内）
発生年月日	2019年2月7日（注1）
状況	<p>2019年2月6日23時45分頃、巡視点検中の当社社員が、3号機 原子炉建屋 地下1階（放射線管理区域内）で、運転中の補給水（注2）ポンプ廻りに約2リットルの水溜りを確認しました。</p> <p>調査の結果、2月7日午前1時頃、補給水ポンプの出口側の配管に微小な孔が開いたことにより、当該箇所から漏えいしていることを確認しました。当該ポンプの停止および漏えい箇所の前後の弁を閉じたことにより、漏えいは停止しました。漏えいした水の放射能を測定した結果、検出限界未満であることを確認しました。</p> <p>なお、漏えいした水の拭き取りは完了しています。</p> <p>今後、微小な孔の開いた原因を調査し、適切に対応してまいります。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	運転情報「表 1-2 管理区域内において、放射性物質を含む機器等からの水の漏えいを発見したとき。（但し、1リットル程度に至らない微小な漏えいを除く。）」に該当します。

注1 漏えい発生は2月6日ですが、お知らせ基準に該当すると判断した日付を記載しています。
注2 補給水とは、液体廃棄物処理系で処理した水であり、発電所の運転に再利用しています。

以上